



株式会社 システム デイ

2026年10月期（45期） 中間期決算補足資料

株式会社システム デイ 証券コード：3804

2026年6月15日



IS 578931 (ISO/IEC 27001 / JIS Q 27001)



CLOUD 761373 (ISO/IEC 27017)
※School Engine 京都本社取得



22000041



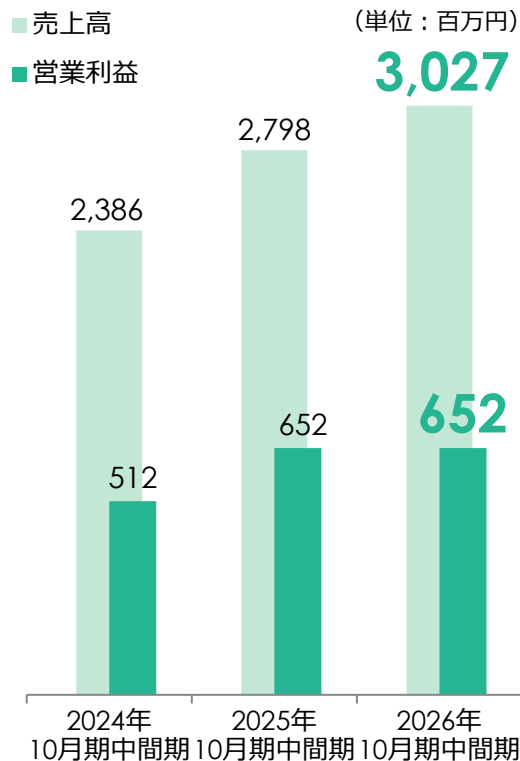
2026
健康経営優良法人
KINRO Investment for Health
大塚証券大塚店



2026年10月期
中間期決算概要

2026年10月期(45期)中間期決算の概況

複数の事業部において年度末の大型案件を納品するとともに、ストック売上也順調に積み上げてまいりました結果、売上、営業利益ともに当初計画を上回りました。



売上高 **3,027** 百万円

対計画 106 百万円 (103.7%) ↑

対前年 229 百万円 (108.2%) ↑

営業利益 **652** 百万円

対計画 78 百万円 (113.8%) ↑

対前年 0 百万円 (100.0%) ↑

損益計算書

当初計画比

	2026年10月期 中間期当初計画	2026年10月期中間期実績		
		実績	計画増減	計画比
売上高	2,921	3,027	106	103.7%
売上総利益	1,263	1,339	75	106.0%
営業利益	573	652	78	113.8%
経常利益	573	655	82	114.4%
当期純利益	394	410	16	104.1%

前年比

(単位：百万円)

	2025年10月期 中間期実績	2026年10月期中間期実績		
		実績	前年増減	前年同期比
売上高	2,798	3,027	229	108.2%
売上総利益	1,242	1,339	96	107.8%
営業利益	652	652	0	100.0%
経常利益	654	655	0	100.1%
当期純利益	446	410	△ 36	91.9%

貸借対照表

総資産

7,607 百万円 (前期末7,360百万円)

純資産

5,269 百万円 (前期末5,007百万円)

自己資本比率

69.3 % (前期末68.0%)

借方

流動資産 3,934 百万円
(前年期末比323百万円増)

固定資産 3,672 百万円
(前年期末比77百万円減)

貸方

流動負債 1,947 百万円
(前年期末比20百万円増)

固定負債 390 百万円
(前年期末比35百万円減)

純資産 5,269 百万円
(前年期末比262百万円増)

収益性・安定性に関する指標の推移

売上高営業利益率

21.5%

自己資本比率

69.3%

EPS
1株当たり純利益

21.3 円

BPS
1株当たり純資産

273.6 円

※上半期のみ

効率の高い ビジネス展開に注力

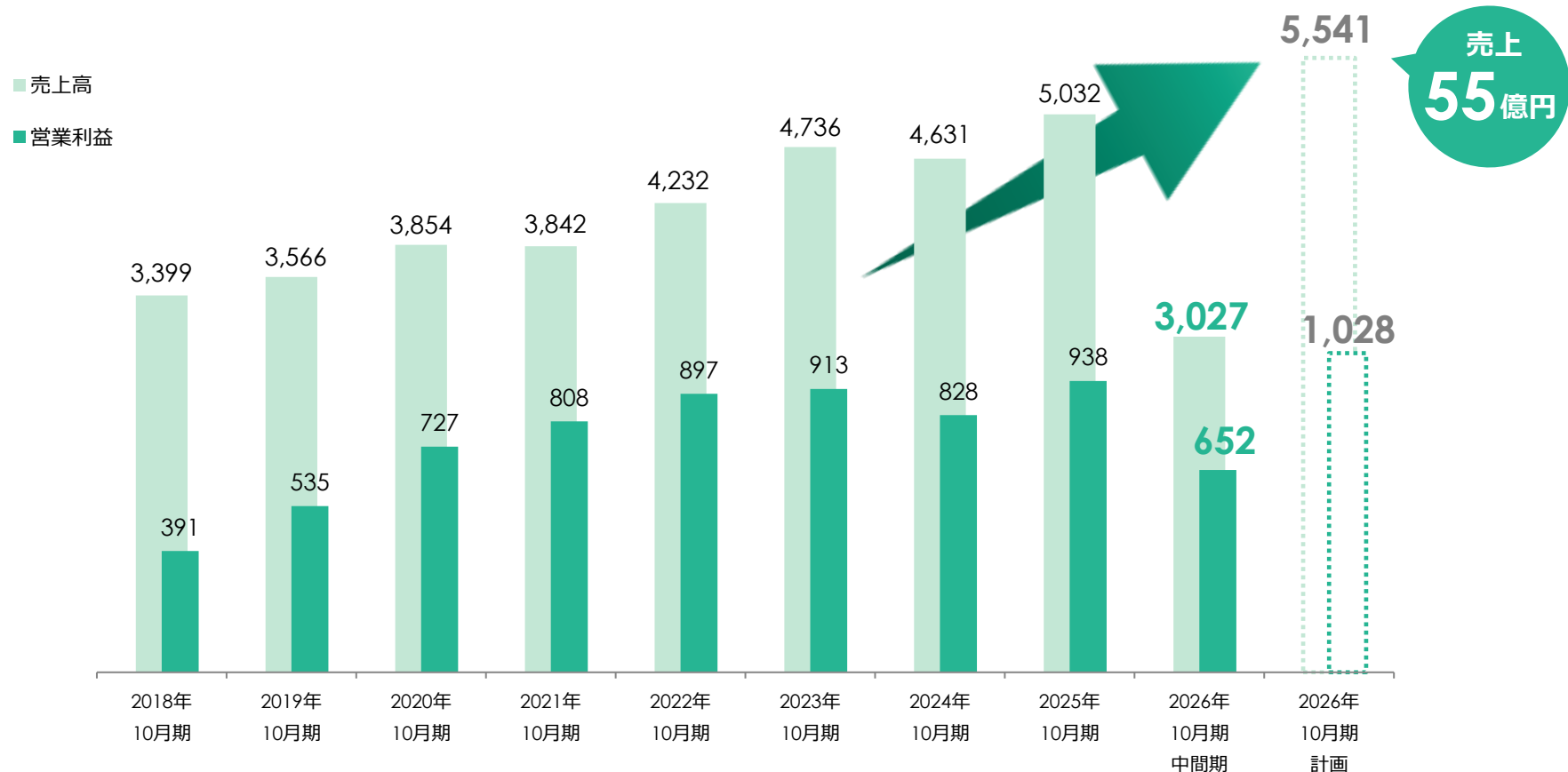
KPIとして特に重視している売上高営業利益率は、20%を超過。
各種KPIの目標達成に向けて、重点施策に取り組む。

※2026年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純利益」、
「1株当たり純資産」を算定しております。

売上高・営業利益の推移

2026年10月期計画では、売上高で**55億円**を計画。

(単位：百万円)



顧客数・ストック売上の推移

新規ユーザーのシステム利用開始に加え、機能アップによる『Campus Plan』のサポート料や『Smart Hello』のクラウド利用料の改定、各ソリューションの製品ラインナップ拡充が寄与し、2026年10月期においてもストック収益が着実に成長。



※累計ユーザー数は株式会社シンク1,232ユーザー含む。

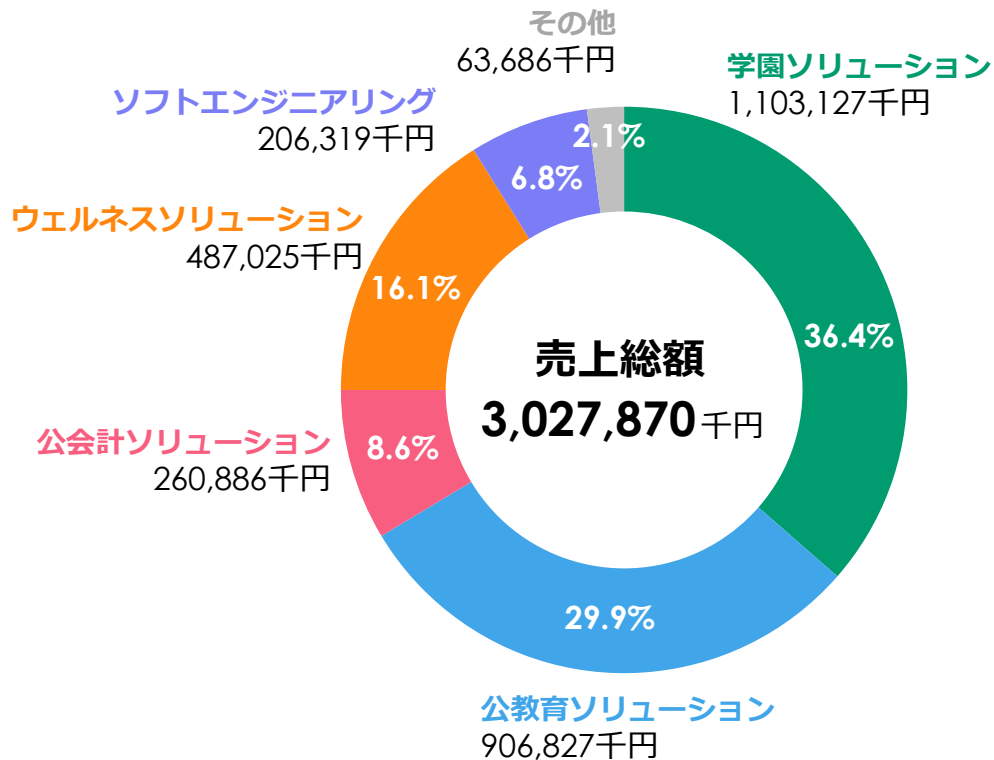
事業部別売上構成

2026年4月稼働を中心とした新規案件およびバージョンアップ案件を数多く納品し売上総額が増加。引き続き、全てのソリューションの事業拡大とさらなる利益率の向上を目指します。

(単位：百万円)

	売上額	※調整後 営業利益	利益率	全社利益に 占める割合
学園ソリューション	1,103	285	25.9%	43.9%
公教育ソリューション	906	178	19.7%	27.4%
公会計ソリューション	260	55	21.1%	8.4%
ウェルネスソリューション	487	30	6.3%	4.7%
ソフトエンジニアリング	206	92	45.0%	14.2%

※「調整後営業利益」は間接経費を各事業部に按分



学園ソリューション事業部



学校法人西大和学園大和大学にて、学校事務トータルシステム『Campus Plan』AIチャットボットサービスの実証実験を2026年5月に開始。本取り組みでは、学生および教職員が随時質問可能な環境を整備し、

- ・学内情報へのアクセス効率の向上
- ・利用者の利便性および満足度の向上
- ・問合せ対応工数を削減し職員の業務効率化を実現。

公教育ソリューション事業部



校務支援クラウドサービス『School Engine』を、2026年3月に青森県教育委員会へ導入。青森県内の県立中学校・高等学校・特別支援学校67校、約23,000名の生徒および約3,750名の教職員が利用する大規模運用となる。

また、2027年度入試より『School Engine Web出願システム』の稼働を予定しており、出願手続きのオンライン化を通じて、受験者の利便性向上および学校現場における入試関連業務の効率化への寄与が見込まれる。

公会計ソリューション事業部



公会計システム『PPP(トリプル・ピー)』は、総務省「今後の地方公会計のあり方に関する研究会報告書」および「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に対応した新バージョン6.0を、2026年4月より提供開始。新バージョン6.0では、制度改正への対応に加え、**固定資産台帳機能の強化**（管理項目の拡充および施設別集計帳票の出力）を実施。これにより、**公共施設マネジメントへの活用**を可能とし、資産管理の高度化への寄与が見込まれる。

ウェルネスソリューション事業部



クラウド型チケット管理システム『**Smart Hello チケット**』を、2026年4月に東武タワースカイツリー株式会社が運営する**東京スカイツリー**へ導入。
東京スカイツリーは年間約400万人以上が来場する大規模施設であり、本システムは同施設における来場者管理の基盤として活用されている。
本導入により、Webチケットを活用したダイレクト入場の環境が整備され来場者のスムーズな入場を実現。また、需要に応じた日別の変動価格設定に対応し、来場者の利便性向上に加え、運営の効率化および収益管理の高度化への寄与が見込まれる。

ソフトウェアエンジニアリング事業部



従来の『**規程管理システム**』に加え、『**金融機関向け文書管理システム**』および『**マニュアル管理システム**』等ラインナップを拡充。
規程管理を軸に、対象業務・業種を広げることで提供領域を拡大。結果、顧客層の拡大と**案件規模の大型化**につながっている。当上期においては、金融機関や製造業といった業種への展開が進み、中規模から大規模の案件を継続的に受注・納品できていることが業績に寄与。今後はより導入しやすい**スモールプラン**の投入も予定しており、顧客基盤の裾野拡大を図る。

2026年10月期中間期のトピックス

『fmSMART』事業譲受に関する基本合意書締結のお知らせ

公会計を中心とした公共施設マネジメントソリューションの事業拡大を目的として、株式会社オーイーシーが提供する公共施設マネジメントシステム『fmSMART』に係る事業のうち、ソフトウェア、ファシリティマネジメントに関する業務・システムノウハウならびにユーザー基盤を承継することいたしました。本件により、ファシリティマネジメント分野における開発期間の短縮、早期収益化および既存公共ビジネスとの相乗効果が期待され、当社グループの企業価値向上につながるものと判断しております。

『fmSMART』の著作権、ソースコード、各種資料やデータ、現時点のユーザー契約等、関連する全てが承継の対象となります。
なお、貸借対照表に記載された資産、負債の異動はございません。



(1) 名称	株式会社オーイーシー	
(2) 本社所在地	大分県大分市東春日町17番57号 ソフトパーク内	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 加藤 健	
(4) 事業内容	事業所の情報化企画、受注ソフトウェア開発・導入・運用支援、事業所内ネットワーク構築、クラウドコンピューティングサービス、A I ・ I o T などの先端技術研究開発等	
(5) 資本金の額	100,000千円	
(6) 設立年月日	1966年4月23日	
(7) 純資産	5,191,795千円 (2025年3月31日現在)	
(8) 総資産	9,823,158千円 (2025年3月31日現在)	
(9) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

2026年10月期（45期）通期計画

新規ユーザー獲得によるシェア拡大、ストック収益の向上により、持続的な成長を可能にするビジネスモデルを強化。パッケージソフトの継続的な開発と、新規事業の立ち上げ等による新たな収益基盤の確立を目指します。

(単位：百万円)

	2025年10月期 (44期) 実績	2026年10月期 (45期) 中間期			2026年10月期 (45期) 計画
		計画	実績	計画比	
売上高	5,032	2,921	3,027	103.7%	5,541
営業利益	938	573	652	113.8%	1,028
営業利益率	18.6%	19.6%	21.5%	-	18.6%
経常利益	943	573	655	114.4%	1,026
純利益	627	394	410	104.1%	703

配当額・配当性向の推移

株式分割及び株式分割に伴う配当予想の修正（増配）を行いました。

分割比率

1 対 3

分割基準日：2026年4月30日
効力発生日：2026年5月1日

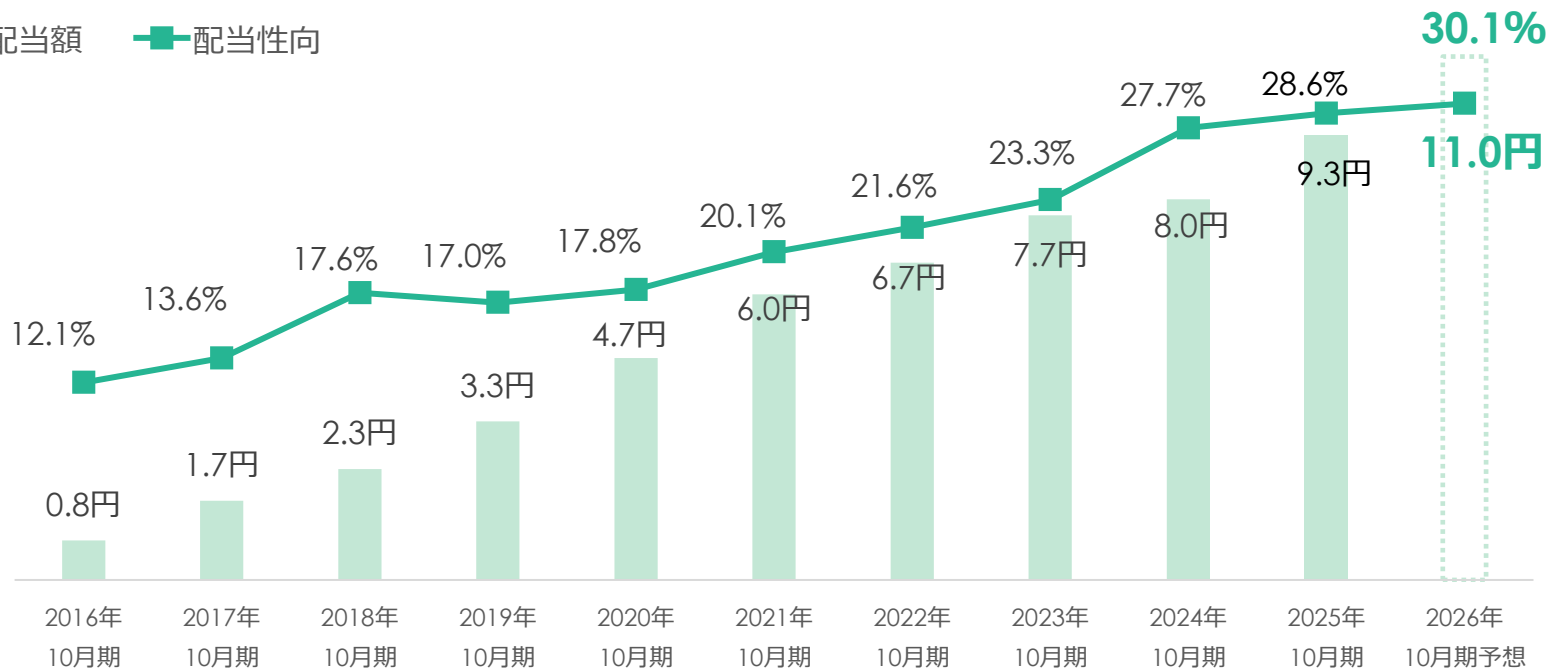
株式分割前換算

前回公表予想 32円

今回公表予想 33円

※実質1円増配

■ 配当額 ■ 配当性向



「健康経営優良法人2026」認定

経済産業省と日本健康会議が推進する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。2025年に引き続き、2年連続での認定となります。当社では2024年に「健康経営宣言」を発表、代表取締役を健康経営の最高責任者とし全社体制で健康経営を推進しております。



具体的な取り組み（抜粋）

健康管理・疾病予防

インフルエンザ予防接種・婦人科健診の費用全額補助

メンタルヘルス・ストレス対策

管理職向けメンタルヘルス（ラインケア）研修を実施

働きやすい職場環境づくり

在宅勤務・時差出勤制度の導入、ビジネスカジュアル導入

運動習慣・生活習慣改善

全社ウォーキングイベント実施

教育・啓発

健康に関するe-Learningの定期実施、「健康経営ニュース」の定期配信

今後とも、さらなる従業員の健康の維持・増進、いきいきと働くことができる環境づくりと企業価値の向上を目指してまいります。

健康経営優良法人認定制度とは・・・地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



<https://www.systemd.co.jp/ir>

上記URLより、当社ホームページのIRサイトをご覧ください。

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。

当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。